2026年11月12日

各　位

会社名　株式会社フレクト
代表者名　代表取締役ＣＥＯ　黒川 幸治
（コード番号：4414　東証グロース）
問い合わせ先　執行役員ファイナンス＆アカウンティング本部長ＣＦＯ　河田 紘史
TEL. 03-5159-2090

2027年３月期第２四半期決算 高い関心が想定される事項

2027 年３月期第２四半期決算について、投資家の皆様の高い関心が想定される事項を、以下のとおり記載いたしました。

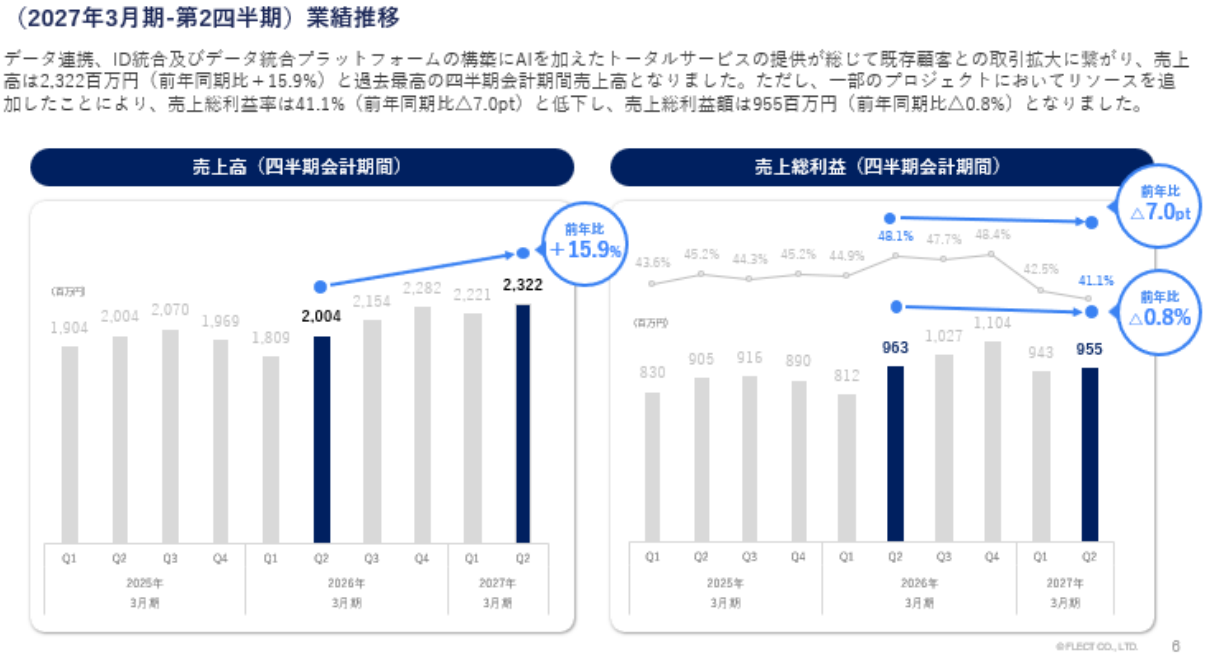
Ｑ１．　2027 年３月期第２四半期会計期間の業績及び、第３四半期以降の見通しについて

Ａ１．　過去最高の四半期売上高を達成（決算説明資料 P.6、8）

2027 年３月期第２四半期会計期間の売上高は、データ連携、ID 統合及びデータ統合プラットフォームの構築に AI を加えたトータルサービスの提供が総じて既存顧客との取引拡大に繋がり、2,322 百万円（前年同期比+15.9%）と過去最高となりました。 将来の持続的成長を企図した人材や AI 活用、ID パッケージ事業等への投資を積極的に進めております。

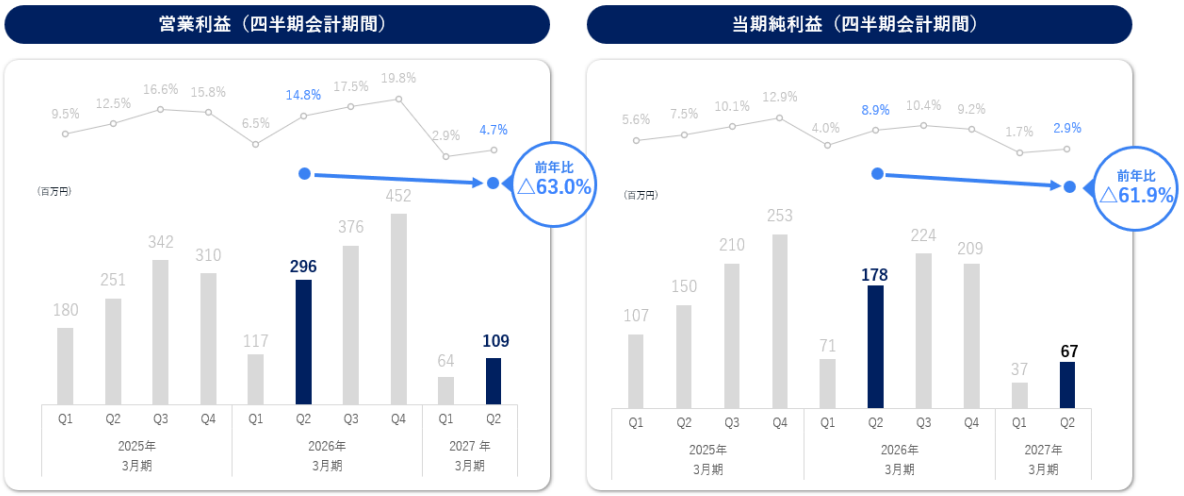
一部、品質・進捗面での対応を優先したプロジェクトはありましたが、第３四半期会計期間以降では収束に向かいつつあり、後続案件の積み増しを見込んでいます。また、新たに注力している公共領域においては大型プロジェクトを着実に受注できており、金融領域においても獲得した顧客との取引拡大が進捗しています。さらに、民間の既存顧客においても大口の引き合いを受注していることから、第３四半期以降の売上拡大の牽引を見込んでいます。

一方で、利益率につきましては、一部のプロジェクトにおいてリソースを追加したことにより、売上総利益率は前年同期比 7.0pt、営業利益率は同 10.1pt それぞれ低下いたしました。当該プロジェクトの収束に伴い、当第２四半期会計期間に計上した受注損失引当金は第３四半期会計期間以降に戻る見込みです。これに加え、売上の拡大や売上総利益率の回復、投資領域の絞り込みにより、利益の不足分をカバーして参ります。



（2027年3月期-第2四半期）業績推移

売上総利益率の低下に伴い、営業利益は109百万円（前年同期比△63.0%）、当期純利益は67百万円（前年同期比△61.9%）となりました。



© FLECT CO., LTD.

Q２. 受注損失引当金 98 百万円の計上について

Ａ２. 進行中の一部プロジェクトにおいて、品質・進捗面での対応を優先したことから、計画を上回る原価が発生する見込みとなりました。当第２四半期会計期間において、当該プロジェクトに対する損失として受注損失引当金繰入額 98 百万円を売上原価に計上いたしました。事業構造全体に起因するものではなく、当該プロジェクトに関する対応は 2027 年３月期中に終了予定です。

以　上